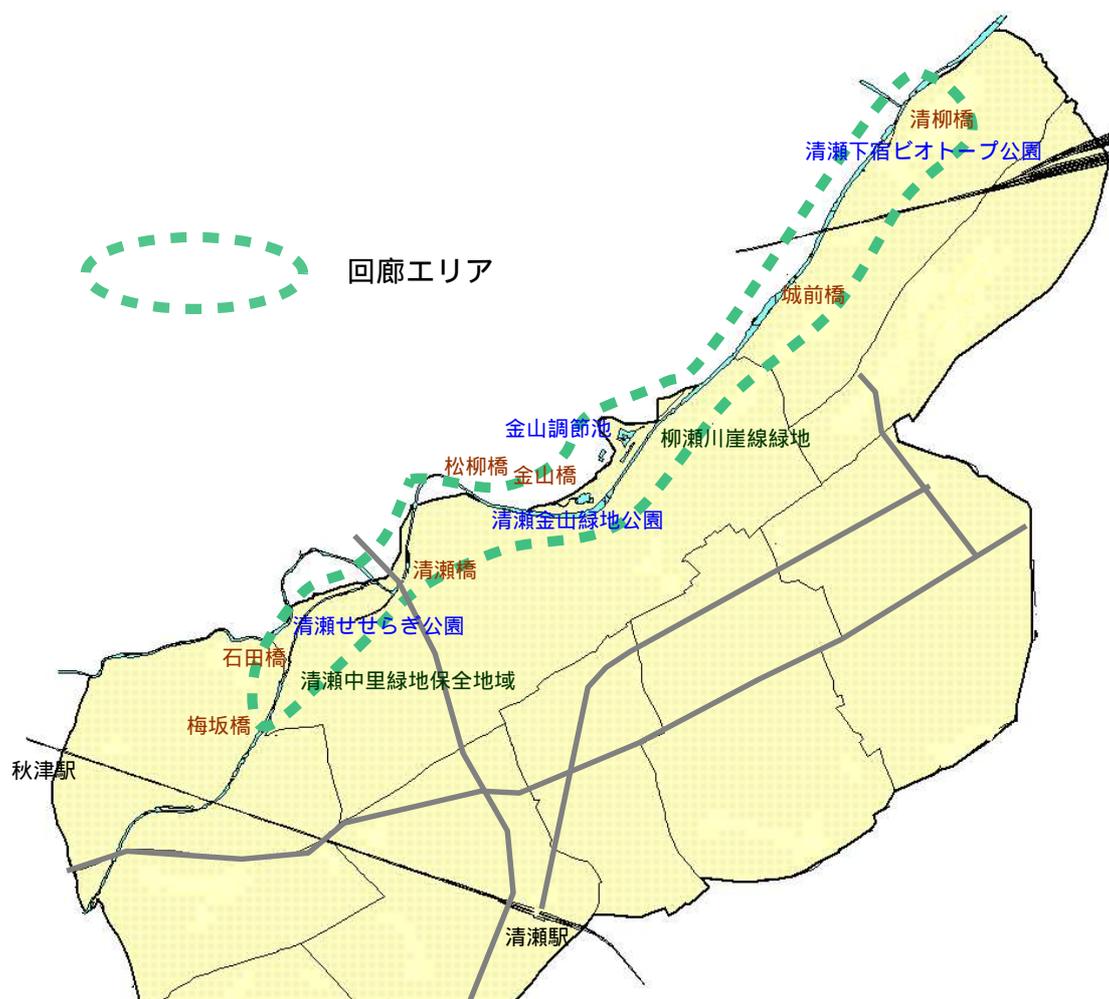


第4章 回廊エリアとコースの設定

1 回廊エリア

回廊のエリアは、柳瀬川流域の水辺空間を基本としながらも、清瀬中里緑地保全地域や柳瀬川崖線緑地の緑、さらには空堀川の旧河川を活用した親水公園「清瀬せせらぎ公園」をはじめ、日本水仙が観賞できる「清瀬金山緑地公園」、カワセミなどの野鳥が観察できる「金山調節池」、清瀬水再生センターに隣接して整備された「清瀬下宿ビオトープ公園」などを対象としています。



図：柳瀬川回廊エリア図

2 回廊コース

回廊コースの選定にあたっては、柳瀬川の特長が生かされ、身近で親しみやすく、最も魅力的と思われるものとし、さらに回廊としてのネットワークを意識しながらコースとして相応しいスポットや順路等について選択したものとなっております。

柳瀬川回廊は、市域を流れる柳瀬川の上流から下流に向かって、一部空掘川を取り込み、【梅坂橋】 - 【清瀬中里緑地保全地域】 - 【中里二丁目の清瀬せせらぎ公園】 - 【清瀬橋】 - 【金山橋】 - 【城前橋】 - 【清瀬下宿ビオトープ公園】の間約4 kmをコースの基軸とし、回遊性を高めるため一部左岸側（所沢市）を含め、その流域の親水施設、崖線の緑（市有林等）を結ぶエリアを対象とします。

また、清瀬駅及び秋津駅からこのエリアへのアクセス道路は、それぞれけやき通りと柳瀬川通りが中心となります。

柳瀬川回廊の全コースについては、【回廊コース一覧図】をご覧ください。